


銀行名	東北銀行
タイトル	6次産業化を目指す事業者への支援の取組み
取組み内容	<p>平成 25 年 8 月に岩手町と「地域産業活性化パートナーズ協定」を締結し、6 次産業化支援を通じた農林業振興に取り組んでまいりましたが、岩手町の利子補給制度を活用した融資商品を平成 27 年 5 月 1 日より発売しております。本商品は、岩手町より全額利子補給で実質無利子となります。新規創業者を含めた岩手町より認定を受けた認定農業者に、6 次産業化に取り組む際に必要な資金に対応いたします。ご融資にあたっては、当行が事業計画策定のご支援も行います。</p> <p>当行では、本資金を通じて岩手町の事業者の皆様へ円滑な資金提供を図っていくとともに、引き続き岩手町との連携を基に、地域に存在する資源を活用したビジネス創出を後押しするとともに、地域の課題やニーズに対して金融機関としての情報・ノウハウを提供するなどして「地域力の向上」に努めてまいります。</p>

銀行名	東北銀行
タイトル	地方自治体との連携プロジェクトの取組み
取組み内容	<p>平成 25 年 12 月に遠野市と「農林水産業の活性化に関する業務推進協定」を締結していましたが、この連携プロジェクトから遠野どぶろくを調合した「遠野どぶろく飴」を商品化し、発売しております。</p> <p>「遠野 どぶろく飴」は、当行と遠野市が連携して企画し、当行のアドバイザーである(株)パイロットフィッシュ・五日市知香氏のコーディネートのもと一般社団法人遠野ふるさと公社が製品化した。一般社団法人遠野ふるさと公社が運営する遠野市内観光施設等のほか、遠野市内の菓子店においても販売しております。</p> <p>当行では、今後も地方公共団体との連携を図りながら、地域の課題やニーズに対して金融機関としての情報・ノウハウを提供し、ネットワークを活用するなどして「地域力の向上」努めてまいります。</p> 

銀行名	東北銀行
タイトル	オガールプロジェクトへの支援

当行では平成 27 年 4 月、岩手県紫波町で実施している「紫波町新庁舎整備事業（PFI 事業）」（以下、「本事業」）に対するプロジェクトファイナンスについて、当行が主幹事となりシンジケートローンを組成しました。本事業は紫波町内に本支店を置く 4 金融機関が連携し、地域の PFI 事業を地域金融機関の資金で支援する「地産地消型プロジェクトファイナンス」となります。

本事業は、岩手県紫波町が進めている「紫波中央駅前都市整備事業（通称：オガールプロジェクト）」の一環として実施されます。オガールプロジェクトは、紫波町が町民や民間企業からのアイデアを募り策定した「紫波町公民連携基本計画」に基づき、JR 紫波中央駅前の町有地 10.7ha において都市整備を図る事業であり、平成 23 年 4 月に「岩手県フットボールセンター」が整備され、平成 24 年 6 月に中核施設となる「オガールプラザ」が公民連携事業（PPP）として整備されました。平成 25 年 10 月に「オガールタウン日詰二十一区」で紫波型エコハウス基準による宅地分譲が始まり、平成 26 年 7 月には民間複合施設「オガールベース」がオープンし、年間約 80 万人を超える交流人口を創出しています。新たな都市機能の整備によりこれまで以上の「賑わい」が創出され、地域経済の発展が期待されます。

当行はオガールプロジェクトへの支援として、これまでに「オガールプラザ」、「オガールベース」の建設資金を支援しております。今後も、PFI・PPP等の手法を活用した地方創生の取組みを支援し、地方活性化に向け積極的に取組んでまいります。

【ご参考】紫波町新庁舎整備事業プロジェクトファイナンスのスキーム図

【ご参考】施設概要（紫波町庁舎）



【ご参考】施設概要（オガールベース）

